

農業委員会だより

第70号

発行編集

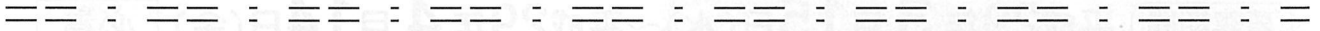
倉吉市農業委員会

鳥取県倉吉市東町435-1

倉吉市役所北庁舎

TEL 0858-22-8171

FAX 0858-23-9100



地域でがんばる新規農業者

倉吉市北谷地区 藤井 邦彦さん

白ネギ収穫多忙の中、北谷地区の新規就農者である藤井邦彦さん取材させていただきました。

藤井さんは、大阪などで、サラリーマンをしておられました。Uターンされ、平成24年から実家の農業を手伝っておられました。この間、農作業の辛さと楽しさ、直売所を通してお客様に接すること、自分で育てる野菜生産への責任やお客様の信頼を得ることの大切さを知り、平成25年に就農することを決断されました。

現在は、白ネギ1ha、夏野菜10a、タマネギ20aを栽培され、農業経営を安定させるため、パソコンによる経営管理分析や作業日誌記帳による農作業のスケジュール管理に取り組んでおられます。

将来は、1,000万円農業を経営目標に掲げる一方で、消費者の信頼を裏切らないような丁寧な出荷を心がけておられます。また、集落においては、農事組合長や各役員等をされ、多忙の日々を過ごされておられます。

地域の担い手として、今後も藤井さんのご活躍を期待いたします。

(取材 編集委員長 徳田 和幸)

倉吉市

農業委員・農地利用最適化推進委員

募集!!

平成29年7月19日で任期満了となる農業委員及び新設される農地利用最適化推進委員を募集します。

募集期間 平成29年3月15日(水)～平成29年4月14日(金) **必着**

募集人数 農業委員 19人

農地利用最適化推進委員 9人 担当区域ごとに募集

※法令により、認定農業者が農業委員の過半を占めること、農業委員会の所掌に属する事項に関し利害関係を有しない者(中立委員)を1人以上含めること、年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならないこと等の規定があります。

募集方法 「推薦」と「自らの応募」の2種類の方法があります。

※詳細は、「募集案内」や市ホームページをご覧ください。「募集案内」は募集期間中、農業委員会事務局で配布しています。

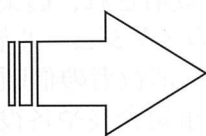
委員の任期 農業委員 平成29年7月20日から平成32年7月19日まで
農地利用最適化推進委員 委嘱日から平成32年7月19日まで

農業委員会制度が大きく変わります

担い手への更なる農地集積や遊休農地の未然防止・解消等を進めるなど、農地利用の最適化を図るために農業委員会等に関する法律が改正され、農業委員の選出方法が選挙による選出から、議会の同意を必要とする市長による選任制へと変更になります。

また、新たに担当地域で現場活動を行う農地利用最適化推進委員が新設され、倉吉市では、平成29年7月から農業委員19人と農地利用最適化推進委員9人の合計28人の委員で業務を行うこととなります。

従前



平成29年7月以降



農地パトロール(利用状況調査)と利用意向調査

倉吉市農業委員会は、遊休農地の実態把握と発生防止・解消のため、毎年、8月に全市一斉農地パトロール(利用状況調査)を実施しています。

この調査の結果、遊休農地と判断された場合には、所有者等に今後その農地をどのように利用する意向であるか「利用意向調査」を行います。

(利用意向の内容)

- ①自ら耕作します。
- ②所有権移転又は貸借を目的とする権利設定をします。
- ③農地中間管理事業を利用します。
- ④農地利用集積円滑化団体(鳥取中央農業協同組合)が行う農地所有者代理事業を利用します。

※農地中間管理事業とは、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構を通じて、出し手農家から農地を借受け、担い手農家等へ貸し付ける事業です。



耕作や権利設定をせず、農地を放置しているままだと固定資産税が上がるかもしれません

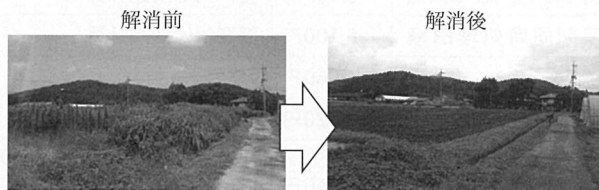
平成28年4月の地方税法改正により、農地中間管理機構に貸し付けた農地の固定資産税が軽減されることになりました。所有する全農地(10a未満の自作地を残した全農地)を新たに、まとめて、農地中間管理機構に10年以上貸し付けた場合、貸し付けた農地の固定資産税が最初の3年間(15年以上は5年間)、1/2に軽減されます。

一方、「利用意向調査」どおりに遊休農地が解消されない場合は、農業委員会が、所有者等に対して、農地中間管理機構と農地の貸し借りについて、協議を行うよう勧告し、勧告を受けた農業振興地域内の遊休農地は、固定資産税上通常の農地と評価されず、翌年度以降の税額が約1.8倍になります。

遊休農地の再生には、遊休農地解消対策事業をご活用ください

【交付対象者】 農業経営基盤強化促進法又は農地法により遊休農地の賃借権を3年以上設定する者

【助成額】 遊休農地の状況(作業内容)により、10aあたり1万円～3万円助成



***** 平成28年度県外視察研修レポート *****

平成28年8月1日～2日に農業委員会は、福井県農業試験場、三重県津市、菟野町で視察研修を実施しました。福井県は、県全体で一体となったブランド米生産の取組がされており、日本穀物検定協会の食味ランキングについても、特A評価となる生産条件について研究されています。コシヒカリ発祥地である福井県の研究開発



の努力の歴史を垣間みることができました。

津市では農業委員会の新制度の移行までの取組状況などを研修し、平成29年7月スタートの倉吉市農業委員会の新体制に参考となるものでした。

菟野町(こものちょう)では、町名の由来となった真菰(まこも)を菟野町で最初に栽培し、町の特産品となるきっかけをつくられた大橋徳紀さんのお話を聞きました。倉吉市でも約1haのマコモタケが栽培がされており、平成28年6月には、マコモタケ研究会が設立されています。菟野町の農商工連携による町をあげてのマコモタケ振興のご努力は、見習うべきものが多くありました。



お知らせ

倉吉市賃借料情報

平成27年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における、賃借料水準(10aあたり)は、次のとおりです。

地区	地目	平均額	最高額	最低額	データ数
倉吉市全域	田	5,600円	9,000円	2,000円	826
	畑	4,600円	8,000円	1,300円	139

※近年無償での貸付(使用貸借権設定)件数が増加しています。

平成29年倉吉市農作業労働標準賃金

平成29年(1月1日~12月31日)の農作業労働標準賃金は下表のとおりです。

標準額については、農作業の受委託の際の目安となるものです。ただし、決定については、当事者間で話し合ってください。

作業区分	標準額(税込み)	摘要(10aあたり)	
普通田植	7,020円		
側条施肥田植	8,100円	肥料代は別途計算	
薬剤同時処理田植	8,100円	薬剤代は別途計算	
荒かき	4,860円		
植え代かき	7,020円		
稲コンバイン	16,740円	雑草・変形田・5a未満等 20%増 倒伏30~69% 20%増 倒伏70%以上 30%増 (但し、当事者間の話し合い) 結束3,240円増	
麦コンバイン	12,420円		
バインダー	8,640円	ひも代含む。倒伏30%以内加算可能	
ハーベスター	8,640円	依頼者1名出役	
耕耘	田 全耕	7,020円	
	畑 全耕	5,940円	
	畑 深耕	16,200円	ロータリーによる
薬剤散布	1,620円	薬剤代は別途計算	
一般農作業労働賃金	6,400円	1日8時間・賄いなし	
大豆・小豆栽培	播種	4,320円	施肥同時の場合は1,080円増
	中耕培土	5,400円	
	脱穀	5,940円	依頼者1名出役
	コンバイン	9,180円	
畦づくり	52円	片畦1mあたり	
もみ・大豆運搬	小袋	162円	1袋
	大袋	5.83円	1kgにつき※袋使用料込み
草刈り	1,620円	畦1時間当たり(機械・燃料代含む)	

(注)標準額は消費税込みです。
環境不良田、畑(変形のは場・湿田等)は20%増とします。

*****くらし農家相談会*****

農業者の皆さん なんでもご相談ください!!

- 相談場所：市役所北庁舎3階会議室
- 相談時間：午前9時から正午まで
※平成29年3月15日は午後3時まで
- ご相談日

平成29年	3月15日(水)	4月19日(水)
	5月17日(水)	6月21日(水)
	7月19日(水)	8月16日(水)
	9月20日(水)	10月18日(水)
	11月15日(水)	12月20日(水)
平成30年	1月17日(水)	2月21日(水)
	3月22日(木)	

【問合せ先】農林課/農業委員会事務局

農業委員会ホームページを ご活用ください。

倉吉市農業委員会

皆様にいち早く情報を知っていただくため、倉吉市ホームページ内に、農業委員会の業務内容、農業委員名簿、農地関係の手続きなどを掲載しています。



農業者年金のご相談・加入申込みは、農業委員会事務局またはJAへ

農業者年金に加入しませんか?

3つのおすすめポイント

- ①積立方式の終身年金で80歳までの保証付き
- ②保険料額の自由設定・増減可能
- ③税制面で大きな優遇

加入要件 ①満20歳以上60歳未満の方 ②国民年金第1号被保険者 ③年間60日以上農業に従事している方



農業の最新情報を提供する全国農業新聞の申し込み・お問い合わせは、農業委員または農業委員会事務局まで。

発行日：毎週金曜日 購読料：1ヶ月700円

(編集部より)

農業委員会だよりの編集にあたりましては、市民の皆様にご協力いただける広報誌となるよう、身近な情報・ご意見などをお待ちしています。